

楽ら読く楽ら書く 第30号

平成28年1月発行

精華町立図書館

所在地：〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻 70 番地

電話：0774-95-1911 FAX：0774-95-3976

HP：<http://www.town.seika.kyoto.jp/library/>

おすすめの本

『小説 土佐堀川』

古川 智映子 (著) Fフル

徳川幕府の崩壊から明治新政府へと変わる激動の時代、女性実業家として活躍した広岡浅子の生涯を描いた小説です。

京都の豪商・三井家に生まれたおてんば娘の浅子は、大阪の両替商・加島屋へと嫁ぎます。夫の信五郎は、温厚だけれど趣味三昧の毎日で商売はそっちのけ。不安になった浅子は、持って生まれた商才を発揮し、家を守るため奮闘します。病気やケガ、次々起こる難題をも乗り越え、炭鉱事業や銀行経営、日本初の女子大学の開設、生命保険会社などの大事業を成し

遂げていきます。実家の三井家とも手を取り合い、日本経済の発展に力を注いだ、まさに不死鳥のような生涯を歩みました。

お金儲けのことだけを考えていたのではなく、社会のため、人のため、そして家族のために生きた素晴らしい女性のさわやかな一代記に、勇気を与られます。

広岡浅子についてもっと知りたい！という方は、豊富な写真や資料が満載の見て楽しめる『**広岡浅子 徹底ガイド**』（主婦の友社、**Bヒロ**）もあわせてどうぞ。

『AKB48、被災地へ行く』石原 真 (著) YA 767

東日本大震災の2ヶ月後から毎月、被災地への訪問を続けているAKB48。4年以上にわたり欠かさずことなく続けられている訪問は50回を越えました。機材はすべて持ち込み、ステージトラックでメンバー6人（原則）がミニライブやハイタッチ会を行う。「アイドルができること」を考え、歌って踊って、ひと時でも楽しい気持ちになってもらうための被災地支援。その活動と被災者との交流が書かれています。